

近畿木材利用建築促進フォーラムの開催について
～CLT等様々な木材の利活用～

木材は、多段階における長期的利用が地球温暖化防止・循環型社会の形成に資するなど環境にやさしい素材であることから、循環型社会の形成促進に向け、豊富な森林資源を幅広い用途において循環利用し、新たな木材需要の拡大に積極的に取り組む必要がある。

一方、我が国においては、木造建築物の主流は依然として低層住宅であり、木材利活用の促進等の観点から、中大規模建築物についても木造化・木質化を図ることが重要であると考えられる。

そこで、建築物への木材の利活用に取り組むリーディング企業や第一人者等から、木造化・木質化された建築物の付加価値化・差別化等についての情報共有・普及啓発等を行うことにより、近畿圏内における中大規模建築物等への木材の利活用の一層の促進に資することを目的とする。

○日時：平成30年2月15日（木）14:00～17:30

○場所：近畿中国森林管理局 4階大会議室
(大阪府大阪市北区天満橋1丁目8番75号)

○参加費：無料

○主催：近畿中国森林管理局
近畿地方整備局
関西広域木造建築普及促進協議会

○内容

14:00～14:10 挨拶等

- ・開会挨拶：近畿中国森林管理局（3分）
近畿地方整備局（3分）
- ・趣旨説明：近畿地方整備局（4分）
(以下司会：近畿地方整備局)

14:10～14:50 基調講演

- ・基調講演：「最近の都市木造建築の動向と今後の展望について（仮称）」
京大大学生存圏研究所 生活圏構造機能分野
教授 いそだ ひろし 五十田 博 氏（40分）

～～休憩（10分）～～

15:00～16:20 取組紹介

- ・「JAS 機械等級区分構造用製材品による大規模木造建築物等（仮称）」（18分）

株式会社 紅中

大阪第一営業所 次長 吉良 靖男 氏

- ・「中大規模賃貸用不動産への木造（CLT）床の活用（仮称）」

三菱地所株式会社（18分）

住宅業務企画部 兼 新事業創造部 CLTユニット

主事 柳瀬 拓也 氏

- ・「木造（CLT）床を中大規模建築物に適用する際の技術的工夫等（仮称）」

株式会社竹中工務店（18分）

木造・木質建築推進本部 副部長 小林 道和 氏

- ・「高齢者向けの住まいづくりにおける木造化の取組（仮称）」

アーク不動産株式会社（18分）

開発事業部 部長 今井 邦夫 氏

- ・「建設・不動産・金融・木材関連事業者らによる木造化・木質化の付加価値に係る研究（仮称）」

日経BP社（8分）

省エネNext 編集長 日経BP 総研 社会インフラ研究所 上席研究員

小原 隆 氏

～～休憩（15分）～～

16:35～17:25 パネルディスカッション

- ・進行：小原 隆氏（日経BP社）

- ・パネラー

五十田 博氏、吉良 靖男氏、柳瀬 拓也氏、小林 道和氏、今井 邦夫氏

17:25～17:30 挨拶

- ・閉会挨拶：関西広域木造建築普及促進協議会

事務局長 三宅 英隆 氏（5分）

～～終了～～～

- 場所：近畿中国森林管理局 4階大会議室
(大阪府大阪市北区天満橋1丁目8番75号)



